

# 達者です ④9

## 木の太るのが楽しみ

岡林三郎さん

85歳 (上政区)

「今日も家の前の田はきれいに草が刈られていて気持ちが良かった。「今は木を育てることを生きがいに行っている。100年先でないとい金にはならないが、孫の代には役に立つやろう。木が若いから大きくなるのが目に見える」と嬉しそう。「木は太るのが楽しみ。栗は実がなるのが楽しみ」と新しい生きがいを見つけて意欲満々である。「お元気ですわね」と尋ねると「最近風邪をこじらせて体調が悪いんです。病院では心配ないと言われたんですが… ニンニクを朝、昼、晩焼いて食べたり甘い物を控えたり健康管理には注意しているんです」と言う。外見からは、血色もよく体調不良には見えない。「食事は好き嫌いなく何でもいただいている。9時には寝ます」と元気でした。

わくわく  
ひろば

市民の皆さんのページです  
あなたの情報で、ひろばは  
さらにイキイキ ☎231117

エンジンヨイ

## 仲間達

④6



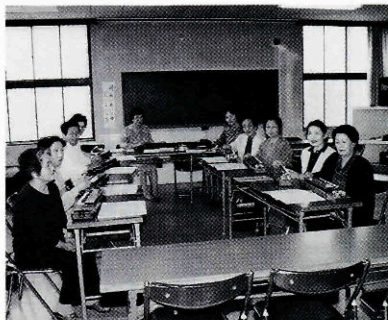
福永孝子さん  
(湯町区)

大正琴の音色に

魅せられて

「俵山凌泉会」

「老後の楽しみとほけ防止」という言葉にさそわれて、大正琴を習いはじめて早いもので9年になります。月に2回、公民館に集まってお稽古をしています。人数も次第にふえて今では14人の仲間ができました。若い人のように指が器用に動



かず、頭の働きも歳と共に鈍くなり苦労してはいますが、それだけに曲がひけるようになった時の喜びは大きく、琴の音色がひとしお心をひきつけます。それに、左の指先を意識的に動かすことが何よりのほけ防止と聞いては、なおさらやめられません。敬老会、文化祭、施設の慰問、本部の発表会等、練習の成果を生かす機会も適当にあつて、よい励みになっています。

③9

## ちよっと小耳にはさんだ

親子、孫、

3世代そろって漁業に生きる



五嶋正美さん

五嶋清一さん  
(洲崎町区)

五嶋敬太さん

船長の清一さん(84歳、機関長の正美さん(61歳)、甲板員の敬太さん(35歳)、親子3世代が同じ船に乗り組み漁業に従事している。

「水産高校専攻科を卒業後、この船に乗りました。外国航路の船に乗りたかったのですが、父に説得されて。今はこの仕事のことで頭がいっぱいです」と敬太さん。

正美さんは「息子はもう一人前、舵も握っています。この3人を含め6人で漁に出ています。漁場は見島近辺から角島沖まで、主にタイやカレイをとっています。人手不足は深刻で、



残念ながらこの小型底引き網もかなり減ってきています。幸いうちの場合3人いるからやっつけられています。今後は機械化、省力化を考えないと難しいですね。色々視察したり研究していきますよ」

清一さんは「孫が継ごうと言ってくれたときは嬉しかったですね。今では孫から叱られていますよ。沖に出たら歳は関係ありません、それぞれ仕事があります。動ける間は現役で頑張っていきたいですね」